



TITLE:

新たな異分野融合研究創出にむけた取り組み:学内ファンド事業SPIRITS成果報告会の活用事例

AUTHOR(S):

笠原, のりこ; 天野, 絵里子; 伊藤, 健雄

CITATION:

笠原, のりこ ...[et al]. 新たな異分野融合研究創出にむけた取り組み:学内ファンド事業SPIRITS成果報告会の活用事例. 2017: P_19.

ISSUE DATE:

2017-08-29

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/234548>

RIGHT:

新たな異分野融合研究創出に向けた取り組み 学内ファンド事業SPIRITS成果報告会の活用事例

笠原のりこ 天野絵里子 伊藤健雄（京都大学 学術研究支援室）

SPIRITSとは

国際化の推進、未踏領域・未科学への挑戦、イノベーション創出の加速を目指し、国際的・学際的チーム研究を支援する学内ファンド

目的

「革新的・創造的研究の創出」「研究マインドを共有するURAの育成」
「プロジェクトマネージャー型研究リーダーの創出」

特徴

- ①研究大学強化促進事業費に自主財源をあわせ研究者が使いやすい制度に
- ②他の支援プログラムと効果的に連携し、研究プロジェクトの発展を加速
- ③URAがプロジェクトに伴走し、きめ細かにフォロー → URA自身も成長

タイプ

学際型：未踏領域の開拓に挑戦する
国際型：海外の研究組織・研究者との異分野融合研究チームの形成支援
新たな国際共同研究チームの形成支援

SPIRITSの成果

- 【平成25年度採択プロジェクト：67件】
 - ・シンポ/ワークショップ/研究会開催：国内外で84回
 - ・国際研究ネットワーク形成/拡大：27件
 - ・新たな国際共同研究の開始：15件
 - ・産学連携開始：6件、MOU締結：4件、特許出願：5件
 - ・受賞：13件、競争的外部資金申請/獲得：68件/46件 etc...
- 【平成26年度採択プロジェクト：19件】
 - ・シンポ/ワークショップ/研究会開催：国内外で34回
 - ・国際研究ネットワーク形成/拡大：14件
 - ・新たな国際共同研究の開始：9件
 - ・産学連携開始：6件、MOU締結：3件、特許出願：10件
 - ・受賞：15件、競争的外部資金申請/獲得：38件/29件 etc...
- 【平成27年度採択プロジェクト：18件】成果確認中
- 【平成28年度採択プロジェクト：16件】プロジェクト進行中

成果報告会 ～研究者をつなぐ『場』の提供～

2年間のプロジェクト完了後、「異分野交流の場」となる成果報告会を開催。同じ学内でも接点のない研究者を引き合わせ、新たな研究プロジェクトに繋がるきっかけ作りを目指す

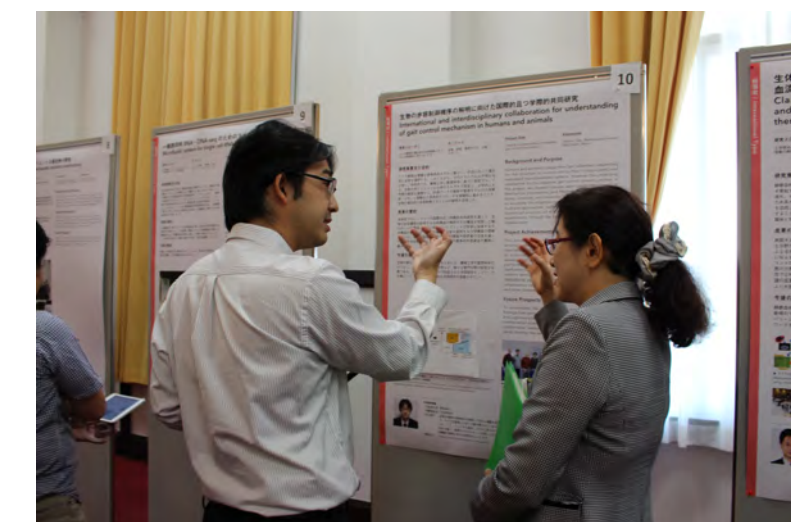
平成26年度採択プロジェクト：19件

- 【学内限定の**クローズドな会**でじっくり対話】
参加者はSPIRITSプロジェクトの研究者と京都大学のURA
→ 自由闊達な議論を通じて**研究者自身の「きづき」を促す**工夫
- 【プロジェクトの「キーワード」で研究者をグループ分け】
接点がなかった**異分野**の研究者が議論
→ 自分の当たり前が異分野でブレイクスルーになる可能性を体験
- 【グループの研究者の専門分野を結びつけた**机上の新プロジェクト**を計画】
それぞれの専門分野を活用・協力させた新プロジェクトを議論
→ 限られた時間内のプロジェクト計画で、自分の専門分野の振り返りも



平成27年度採択プロジェクト：18件

- 【京都大学URA成果公開シンポジウム2017と同時開催】
全国の研究機関や一般企業からの来場者も交えた
→ **産官学をつなげる「異分野交流の場」を提供**
- 【シンポ会場で研究成果を学内外に広く周知】
公開シンポには、学内外から220人以上が参加
→ 研究成果の公開を目的に**オープンな場で**ライトニングトークを開催
- 【SPIRITS研究者間の対話とネットワーク形成の促進】
接点のなかった**異分野の研究者同士が気軽に対話**
→ シンポジウムの一般来場者も交えた議論で、**新たな交流の誕生**



成果報告会后 ～異分野研究者の新たな出会い、新たな研究への種まき～

いろいろな方に興味を持っていただき、
具体的・概観的に有用なアドバイスも
たくさんいただきました。
(生命科学研究科・助教)

グループ討論の一人と継続して議論しま
した。なにか起これば楽しいのですが、
まあ、そう簡単ではなさそうです。
(工学研究科・教授)

普通の環境では絶対にお会いできないような
多様な研究者の方々とお話できたことは、
このようなイベントならではのことで、非常
に有意義な時間を過ごすことができました。
(生命科学研究科・助教)

なかなかまとまりませんでしたが、
非常に楽しかったです。うちの各種
分析技術と、考古学等の文化系研究
と組み合わせるとおもしろいことが
できそうな気がします。
(原子炉実験所・教授)

SPIRITS
SUPPORTING PROGRAM FOR INTERACTION-BASED
INITIATIVE TEAM STUDIES

他分野の先生方との交流はな
かなかありませんので、貴重
な機会だったと思います。
(iPS細胞研究所・研究員)

